

令和7年12月3日

大河原町議会議長 丸山 勝利 殿

文教厚生常任委員会
委員長 山 崎 剛

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、調査中の案件について下記のとおり調査を終了したので、大河原町議会会議規則第76条の規定により報告いたします。

記

1. 開催の日時 令和7年10月21日（火）10時00分
2. 開催の場所 委員会室・大河原中学校理科室・オーガ会議室
3. 出欠委員の氏名
出席委員 山崎 剛 佐藤 巖 万波 孝子
岡崎 隆 高橋 芳男 中村 淳
高屋 伸一
欠席委員 なし
4. 説明のため出席した者の職氏名 教育総務課 課長 櫻田 尚
同 課長補佐 綿貫 留美
同 学校教育係長 大下 敬司
生涯学習課 課長 齋 修
駅前図書館 館長 小野 宏
大河原商業開発(株) 代表取締役 鈴木 孝典
5. 議会事務局の出席職員の名氏名 議会事務局長 木村 武俊
同 課長補佐 山口真由美
同 主事 佐藤 邦彦

6. 所管事務の調査事項

- (1) 小中学校の理科教育設備の整備状況について
- (2) 駅前図書館の施設状況について

7. 調査の結果及び意見

- (1) 小中学校の理科教育設備の整備状況について

①調査状況

理科教育においては、「観察・実験」がすべての基本であり、観察・実験重視の観点から、これらが十分実施できる理科教育環境設備に対する対応が求められている。

②理科教育設備の整備

- ・国庫補助事業：理科教育設備整備等補助金
- ・趣旨：学校教育における理科教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、公・私立の小・中・高等学校等の設置者に対して、理科教育設備の整備に要する経費の一部を補助が行われている。
- ・事業内容：①理科設備（計量器、実験機械器具、標本、模型…）
②算数・数学設備（掲示説明器具、実験実習具…）
- ・補助の対象：小・中・高等学校及び特別支援学校における理科教育のための設備を整備するために必要な経費
- ・補助率：1/2
- ・補助事業者：地方公共団体、学校法人

③補助金を活用した備品整備状況（主なもの）

- ・大河原小学校：てこの実験キット、大型半透明半球儀
- ・大河原南小学校：双眼実態顕微鏡、大型時間説明器
- ・金ヶ瀬小学校：百葉箱、生物顕微鏡
- ・大河原中学校：生物顕微鏡、双眼実態顕微鏡
- ・金ヶ瀬中学校：力学台車用滑走台

④質疑応答での意見

- ・理科教育での設備品整備は、各学校での整備計画により充足の努力を行っている。
- ・設備品整備には、国庫補助事業を活用しているが、近年、補助率の減少も見受けられる。町独自の予算により、毎年同水準での充足に努めている。
- ・学習指導要領にある「環境整備に十分配慮」することからも理科教育における観察、実験の視点を十分実施できる取組を求める。

(2) 駅前図書館の施設状況について

①所管事務調査の経過

- ・ 前回（R7.7.9 開催）の所管事務調査で、施設状況に対し、「蔵書を保管する場所がなく、管理できていない。バックヤードが必要。」「オーガ内の情報収集に努め、執行部でスペース活用の協議等を行ってはどうか。」とのまとめを行っている。
- ・ 駅前ショッピングセンター内のテナント移転の動きもあることから大河原商業開発(株)様に施設内の状況について伺ったもの。

②質疑応答での意見

- ・ 駅前ショッピングセンター内のテナント移転などが見込まれており前回の所管事務調査報告のまとめで述べている「バックヤード」確保に係る重要なタイミングと思われる。
- ・ 駅前図書館（担当課）では、将来的にバックヤードは必要と考えている。また、どの位のスペースが必要であるか、担当課内の声の吸い上げを求める。
- ・ 想定されるテナントスペースはかなり広く、精査は必要である。

③所管事務調査後の経過

- ・ 令和7年11月17日付けで生涯学習課長より「文教厚生常任委員会 所管事務調査を受けての報告について」が提出され、12月3日に常任委員会を開催し、報告書を踏まえてのまとめを行った。

(3) まとめ

①小中学校の理科教育設備の整備状況について

- ・ 各小中学校で必要なものの予算化に向け、現場の要望等、意見調整に努めること。
- ・ 備品購入費だけでなく、理科の実験用消耗品費など不足しているものはないか調査を求める。

②駅前図書館の施設状況について

- ・ 駅前図書館として、執行部内及び関係者の意見集約に努め、早急に施設運営に関する計画策定を求める。
- ・ 駅前の賑わい創出にもなる先進事例（カフェ等）、駅前図書館の複合化も研究し積極的に動いて欲しい。職員の知恵を絞って交流人口の増加に繋げて欲しい。